

はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '89 1月号

迎春



地球的規模で進行する情報化社会への傾斜が、一方で価値の多様化を促し、また一方で、住民ニーズの個別化を深めているのが、今日の状況です。この後者に視点をとめて、山崎正和氏は「顔の見える社会」と命名されました。そこは地域としては狭少ですが、何よりも暮しのレベルでコミュニケーションが成り立ち、住民として相互理解が可能な社会であります。

地域博物館を標榜する当館は、今後の特別展や諸行事を、この暮しのレベルで展開してゆきたいと考えています。1989年は、プラネタリウム

が新機種に更新され、展示替えについても検討を始めなければならない年であります。地域の情報源としては勿論、知的刺激源としてご活用いただきたいと思います。当館は対応できるものを持っていると自負していますが、持たねばならぬ責務としても受けとめて、より一層励んでゆく所存であります。本年もまた宜敷くお願いします。

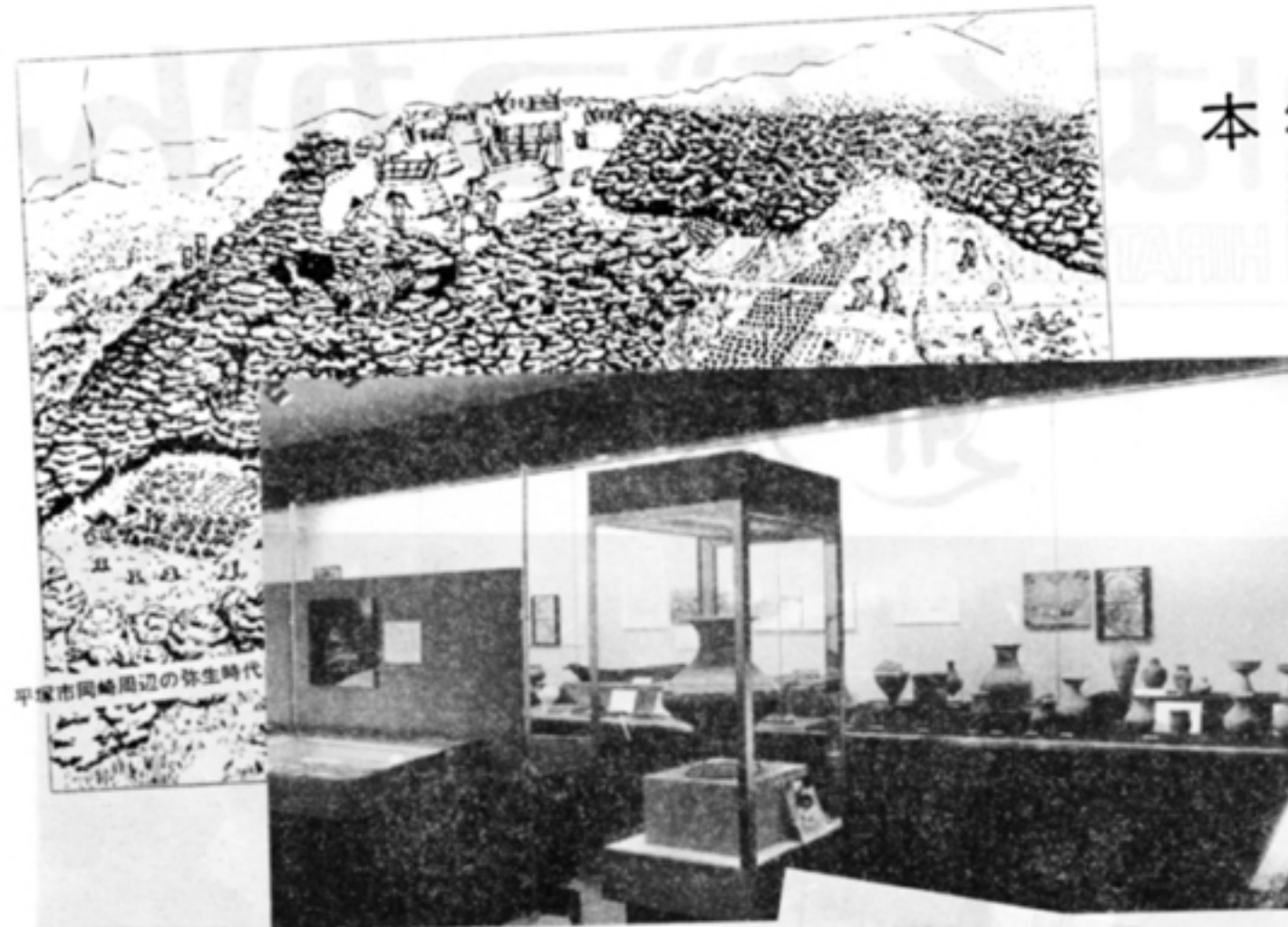
1989年 元旦

平塚市博物館長

今泉義廣

サマーセミナー

今年も
どうぞよろしく



ユリノキ（表紙の写真説明）

博物館をとり囲むようにそびえるユリノキの大木は、文化センター公園のシンボルのような存在です。かつて、ここが海軍火薬廠であった頃からの生き残りで、博物館の建設の際、移殖する本数を減らすため館の位置を少しずらした経過などもあります。

ユリノキは、北アメリカ原産の樹木で、現地ではチューリップツリーと呼ばれています。それは5月頃にチューリップに似た大きな花が咲くためです。博物館の木にも淡い緑色にオレンジ色の模様のある花が毎年たくさんついて、目を楽しませ

てくれます。別名をハンテンボクといますが、これは特有の葉の形からきたものです。

日本ではほとんど植えられていませんが、シナユリノキという別の種類が中国に生えています。同じ仲間の木が、とび離れた北アメリカと中国に分布するのは、たいへん興味深いことです。他のグループの植物でもこうした現象が見られ、特に北アメリカ東部のアパラチア山脈付近の森を歩いていると、日本の森を歩いているかと思うくらい、植物が似ているといえます。それが何故であるのか、地球全体の歴史とも関係のある面白い問題です。（浜口）



...

これは'88年の活動の一部です。
あなたが写っていませんか、知って
る顔がありますか。今年もまた、
一緒に楽しくやりたいと思っています。
（学芸員一同）

...

**** 行事案内 ****

1月		
7	土	古文書講読会／土曜観察会
14	土	石仏を調べる会
14～15 天体観察会“月光天文台”見学		
21	土	古文書講読会／土曜観察会
22	日	自然観察会“自然保護センター”見学
28	土	体験学習“星座早見を作ろう” 石仏を調べる会
29	日	相模川を歩く会
・寄贈品コーナー：“ヘビとカエル”展 (64年1月5日～1月30日まで)		

2月		
4	土	古文書講読会／土曜観察会
5	日	体験学習“巣箱づくりと巣箱かけ” (文化センター公園)
18	土	古文書講読会／土曜観察会
19	日	体験学習“巣箱かけと掃除” (高麗山)
25	土	石仏を調べる会
26	日	相模川を歩く会
・寄贈品コーナー：万田熊ノ台遺跡展 2/1～2/26		

●1月寄贈品コーナー“ヘビとカエル”展

1989年は巳年。それに因んでヘビの資料とその餌になるカエルの資料を展示します。カエルは2年間にわたって“みんなで調べよう”で調査した市内の分布図も展示します。

●自然観察会“自然保護センター”

冬を越す動植物を観察します。

日：1月22日(日)、8～16時(雨天中止)

所：県立自然保護センター(厚木市七沢)

費用：交通費(平塚から大人往復約1,000円)

申込み：1月15日までに往復ハガキで。多数の場合は抽選で30名まで。

●体験学習“星座早見を作ろう”

星座早見盤を作って、星空の下で使ってみます。

日 時：1月28日(土)15～19時

場 所：博物館科学教室・屋上(または前庭)

参加費：200円(材料費)

申込み：往復はがきに、住所・氏名・年令・電話番号を記入の上、1月20日までに博物館へ。

●親子愛鳥教室—巣箱作りを通して

日：2月5日(日) 巣箱作りと文化センター公園の巣箱かけ

所：2月19日(日) 高麗山の巣箱かけと巣箱そうじ

申込み：1月25日までに往復ハガキで。希望者多数の場合は抽選で30名。小学生3年生以下は保護者同伴で。それ以上は児童だけの参加でもけっこうです。

●第2回平塚市博物館公募写真展写真募集

変わりゆく地域の姿を未来に残そう！

既報の通り、当館では相模川流域各地での生活の様子や自然の姿の写真を募集しております。

例えば、農業や漁業などの仕事の様子、祭り、年中行事や野鳥の生態、四季の草花など、博物館資料として活用できる写真です。公民館、図書館、市役所入口等に応募要項が置いてあります。なお詳しくは当館までお問合せください。

☎33-5111(締切りは1月31日です)

Vol.13 No.10 通巻149号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 〇3500
「はくぶつかん」

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 Tel.33-5111